

第4回 葛城市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時 平成26年11月28日（金） 午前10時

開催場所 葛城市役所新庄庁舎 2階204会議室

欠席者 中村委員、寺嶋委員

議事

1 開 会

2 会長挨拶

- 前回までの協議の中で葛城市のバスをどういう形で走らせるということにあたって、どういうやり方をしていくのか。
- 9月末で忍海から山麓線を通り大和高田市へ行く路線バスの当麻新庄線が廃止ということになり、今は市コミバスが代替交通として奈良交通さんに走っていただいています。若干の便数は減っているものの市民の皆さんから見るとまだ走っていると思っただいただいていると思います。
- その路線を含めて葛城号、ゆうあいバス、ミニバス、それらを葛城市全体での路線をどうしていくかを考えていくこと、そこにバスの購入も含めて考えていくということと、ゆうあいバス等は無料で走っていますが、それを有償で走らせるのかどうかということ、そういうことも含めて検討していかなければならない。
- ただ、この検討をするにあたり時間が掛かります。市民のニーズ調査、アンケートを取らせていただき、その上で基本構想を作り、本格稼働のための構想を来年の6月末までにつくって国の方に提出をし、その上で来年度のおそらく10月から12月の間くらいだと思いますが、本格的に葛城市の交通として走らせようという構想を今描いています。
- 運輸支局さん、県さん、奈良交通さんと一緒に協議をし、どの段階で何をしないといけないかをお聞かせいただきながら、準備を進めてまいっております。
- 全体的な流れとして、アンケート調査を今年中に行い、また回収し、来年のできるだけ早い時期、1月、2月にその中身の分析、今までの路線の分析をしながら、3月末までに基本構想を作っていく。その後、4月から6月で本格稼働の構想を作って、国にあげていくというおおまかな流れとなります。

- なぜ10月から12月という幅を持たせているかというのと、例えばノンステップバスを導入しようとするのと、また有料のバスを導入しようとするのと普通のものよりも仕様を変えないといけないので、発注から納車まで6ヵ月ほど時間が掛かるということがあります。そのため、たとえば6月に発注をしても12月になってしまうということもありえます。このようなタイムラグも見ながら導入時期をどのような形でもっていくのか協議を重ねていかなければいけないと思っています。
- 待ったなしで進めていかないといけない事業で、その中で皆様のご意見をお聞かせいただきながら、また2日前に県の政策自慢大会というスピーチ大会があり、そこで香芝市のデマンド交通の構想や事例発表もありましたので、デマンド交通についても、そこにひっつけていけるのかどうかも含めて検討課題の一つとして考えていかなければならないと思っています。
- 限られた予算の中でしていく事業でありますので、実際に市民の皆様にごどれだけ不便を掛けないようにやっていけるのか、皆様のご意見を頂戴しながら進めてまいりたいと思いますので、最後までよろしくお願いを申し上げます。

(事務局)

- それでは、協議会規約の第9条第1項の規定によりまして、山下会長が会議の議長となりますので、議事進行、よろしくお願いたします。

3 協議案件

「(1) 平成26年度予算(案)について」

(議長)

- それでは、ただいまより私が議長を務めさせていただきます。
- まず、最初に「(1) 平成26年度予算(案)について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- お手元の資料1「平成26年度葛城市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)」をご覧ください。
- 過日、奈良県の「安心して暮らせる地域公共交通確保事業補助金」に申請させていただき、2,213,000円の補助金の内定をいただきましたので本日の予算計上となりましたので、資料1を読み上げにて説明いたします。
- なお、申し訳ございませんが表中に単位の表記が漏れておりました。単

位は円でございます。以上です。

(議長)

- コンサルに支払うアンケート調査委託料を県の補助金として入れていただき、それを使わせていただくということでございます。
- ここには含まれておりませんが、基礎調査、基礎的な積み上げの分の予算につきましては市が12月議会に上程する予定でございますので、それは追っての報告になろうかと思えます。
- 協議案件の一つ目、「平成26年度予算(案)」について何か質問等ございますでしょうか。
- なければご承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声)

(議長)

- 異議なしというお声をいただきましたので、協議案件「平成26年度予算(案)について」は承認をされましたので、案の字を取っていただきますようお願いを申し上げます。

「(2) 公共交通に関するアンケート調査について」

(議長)

- 協議案件2つ目「公共交通に関するアンケート調査について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- 資料をご説明する前に、ご審議いただきたい案件がございます。
- 基本計画策定を行う委託業者の選定についてでございます。
- 事業期間の3月までに基本計画を策定することから遅くとも12月にアンケートを送付・回収したいと考えておりますので、協議会終了後早急に業者を決定したいと考えております。本来ならば再度協議会を開催させていただき、お諮りするところですが、期間があまりにもないため、委託業者の選定を事務局にその手続きを一任していただきたく存じます。
- この件に関しまして、ご審議のほど、よろしく願いたします。

(議長)

- 補足説明としてご相談できる範囲で何社くらいあるのか。

(事務局)

- 3社でございます。

(議長)

- 3社あるということでございます。
- アンケート調査等の分析、基礎調査、基本計画を立てるといふところの委託もおそらく同じ会社になるであろうと思いますが、これを直ちに決めていく必要が有ります。
- 先程の原資、2,213,000円をもってそれに充ててまいりたいということでございますが、事務局に一任するということについて、ご質問等ございませんでしょうか。

(議長)

- ないようでしたら事務局に見積合わせ等々の方法を取りまして業者を決めさせていただくということでご決定よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

(議長)

- 業者選定を事務局に一任するということにさせていただきます。
- それではアンケート調査の内容について、事務局説明をお願いします。

(事務局)

- 資料2-1、資料2-2、資料2-3をご覧ください。
- 資料2-1、資料2-2、資料2-3を読み上げて説明。
- アンケート内容については事務局の方で作成した案でございますので、この後業者等を決めていく形になりますが、業者等が決まりましたら再度アンケート内容について話を詰めていきたいと思っておりますので、そこで何らかの修正等が発生するかと思っておりますがご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
- またこの後いただきますご意見につきましてもアンケートに反映させていただきたく存じますが、どう反映させていけるかは業者との打ち合わせの中で決めさせていただければと思っておりますので、これも併せてご了承のほどよろしくお願い申し上げます。以上です。

(議長)

- 30%の回収率を見込んであるということ、これについて甘い見積りということもあろうかと思っておりますが、統計学上ではもっと少ないサンプル数で統計もされておりますので、問題はないかと思っております。
- 今のアンケート内容の説明等について、「このように聞いた方がよいのではないか」や「こういう質問を入れた方がよいのではないか」などのご意見ございましたら、お教えいただけないでしょうか。

(森口委員代理)

- 前提として先程説明がありました運行の計画、コミバス等全体を見直していく計画を、有料化も含めて検討していかれるということでございますので、それを踏まえての話になります。
- 2ページ目のところで、問3で現状を聞かれています。実態として様々な移動ニーズがあらうかと思えます。1番、2番、3番と上位3つを聞かれるというのはボリュームの関係で絞られるというのは良いと思えますが、可能であれば問3-1で細かな分析をされており、2番目、3番目の出かける主な目的についても具体的にどこに行つて、どれくらいの頻度でどういうルートを使つておられるのかを聞いておかれた方が、今のコミバスのそれぞれの運行実態を把握してどの路線を残していかないといけないかということ、アンケートのボリュームは増えるが、どのルートが重要なのか考える上で役に立つのではないかと思います。
- 3ページ目の問4-3で、「自分で運転する」ということもあると思えますので、「1. 自分で運転するまたは家族に車で送迎してもらう」ということにしてはどうか。
- 6ページ目、問6-5で色々な選択肢があるが、その選ばれた選択肢の中で具体的に「どの時間帯」、「どの方面」を増やして欲しいかということ、回答欄に括弧書きでも入れて具体的に書いてくださいという風にしておけば、新たなルートを考えるときに、ニーズを汲み取りやすいのではないかと。
- 利用されていない方にもアンケートを配布されると思えますので、葛城市の各コミバスがどのように走っているかという現状が分かる地図をつけてみてはどうか。ダイヤを付ければ宣伝にもなると思えます。また、これを見ながら回答もできると思えます。

(議長)

- いくつかの点について提案があつたと思えます。ありがとうございます。
- 他にご意見ございますでしょうか。

(伊藤委員代理)

- 利用頻度で毎日となると土曜日や休日のダイヤが違ふので、その分け方をどうするか。

(八伏委員代理)

- 質問3の項目について、市民の方の移動は病院であつたり買い物であつたり駅であつたり、また福祉施設もあらうかと思えます。そこに通勤が入ると、一番出かける所という聞き方ではなく、どこへ行かれるかということ、調査をした中でどこが一番多いのか、ということも調べる方が

利用目的、移動の目的がよく分かるのではないか。

(議長)

○より市民の皆様の意見を汲みあげやすいものにしていくために、見せ方の部分についてご意見ございますでしょうか。

(議長)

○ないようでしたら、今お教えいただいたことも含め、事務局とこれから選定をするコンサル会社と話をしていくということで、ご了承いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声)

4 今後のスケジュールについて

(議長)

○次に「今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

○資料3をご覧ください。

○資料3を読み上げにて説明。

(伊藤委員代理)

○補足の説明となりますが、国の補助申請が6月末にということがありますので、このようなタイトなスケジュールになっています。

○車両購入についても補助はあるが、仕様等についてはバリアフリーの仕様、乗り継ぎを円滑に行うためのICカード対応の機械の設置導入ということで時間が掛かります。

○国の支援というのはあくまで欠損に対して支援を行うと、そのためにはキロ当たりいくらという考え方になっており、運行回数や運行キロが重要になっていますのでこういう形で協議をおこなっていただく。そして警察、公安委員会の方からまた道路管理者の方から協議会に参加していただいているということになります。

(議長)

○次回協議会の日程については、アンケートの状況も踏まえながら決定したいと思います。

(議長)

○さきほど協議案件一つ目で「平成26年度予算(案)」の了承をいただきましたが、その中で言葉足らずの事項がございましたので、付け加えさ

せていただきます。

- 協議会財務規程第7条第1項、「会長は、協議会の事務局職員のうちから出納員を命ずることができる。」とありますので、出納員を事務局の米井企画政策課長に任命をしたいと思いますのでご了承いただきたいと思
います。

(議長)

- 協議をしていただきます案件は以上でございますが、その他何かお気づきの点がございましたら、お教えをいただきたいと思
います。

5 閉 会

(会長)

- 無いようでしたら、以上をもちまして第4回葛城市地域公共交通活性化協
議会を閉会したいと思います。ありがとうございました。